



阪神高速道路株式会社

社長記者会見

2020年10月27日

代表取締役社長 吉田 光市

目次

1. 阪神高速の営業状況
2. 阪神高速の事業進捗

<トピックス>

3. 1号環状線リニューアル工事
4. 安全・安心・快適への取組み
5. ポストコロナ社会を見据えた取組み

1. 阪神高速の営業状況

阪神高速の営業状況（2020年2月～9月）

2020年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	2020年度 上期計
交通量 [※] (台/日) 〔前年同月比〕	684,250 〔95.6%〕	662,160 〔88.7%〕	523,172 〔71.4%〕	489,966 〔70.1%〕	643,729 〔96.6%〕	656,955 〔88.1%〕	658,321 〔88.9%〕	691,730 〔93.8%〕	610,500 〔84.8%〕
料金収入 [※] 〔税抜〕 (百万円) 〔前年同月比〕	13,682 〔98.3%〕	14,046 〔87.8%〕	10,858 〔71.5%〕	10,548 〔70.2%〕	13,263 〔97.2%〕	13,930 〔87.9%〕	14,117 〔89.0%〕	14,285 〔94.3%〕	77,000 〔84.9%〕

※料金収入前年同月比は税抜での比較

〔新型コロナウイルス感染症による影響〕

- ・緊急事態宣言が発令された4～5月は交通量・料金収入ともに対前年で3割弱程度減少
- ・6月以降の交通量・料金収入は特異事象の影響を除いて概ね1割程度減少
- ・前年は以下の特異事象があった

【2019年2月～9月の特異事象】

5月24日～6月3日 3号神戸線(湊川～京橋)でリニューアル工事により終日通行止め

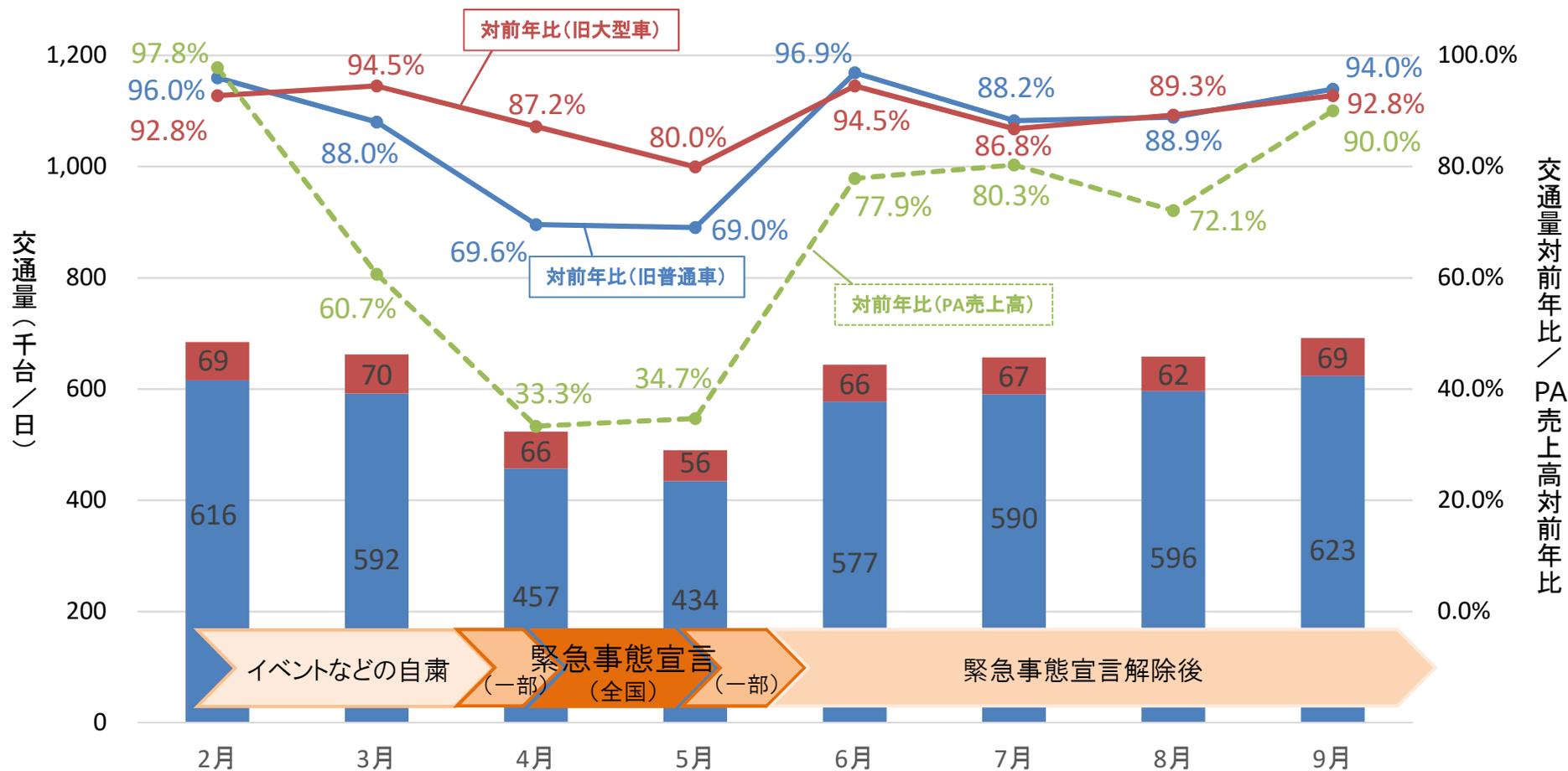
6月27日～6月30日 G20 大阪サミットにより大規模交通規制

8月15日～8月16日 4号湾岸線・5号湾岸線の一部区間で台風10号の影響により一時通行止め

※2020年3月29日以降は、6号大和川線（7.7km）開通後の実績

新型コロナウイルス感染症影響下による交通量等推移

- 3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により交通量やPA売上高が減少
- 特に国の緊急事態宣言が発令された4～5月にかけて交通量やPA売上高の減少が顕著
- 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた期間においても旧大型車は旧普通車より落ち込みが小さい



2020年2月～9月の交通量、交通量及びPA売上高の対前年比の推移

2020年交通量 凡例

■ 旧普通車: 軽・二輪、普通車、中型車 ■ 旧大型車: 大型車、特大車

2. 阪神高速の事業進捗

阪神高速の事業進捗（ネットワーク整備）

阪神高速道路ネットワーク図
兵庫県



【淀川左岸線延伸部】
2020年2月にトンネルの構造等に関する技術的な検討を行う有識者委員会において大深度地下を特定。設計検討、地中障害物撤去工等を実施中。

【淀川左岸線】
海老江地区の開削トンネル工事(大阪市より受託)で地中障害物撤去工等を実施中。また、事業全体として本体工事着手に向け河川堤防工事等を実施中。

淀川左岸線 (4.4km)
うち4.3kmは合併施行区間

淀川左岸線延伸部 (7.6km)
うち4.8kmは合併施行区間

西船場ジャンクション
(信濃橋渡り線)
2020年1月29日全線開通

大阪湾岸道路西伸部 (14.5km)
(六甲アイランド北～駒栄)
うち12.2kmは合併施行区間

大和川線 (7.7km)
2020年3月29日全線開通

【大阪湾岸道路西伸部】
有識者委員会において橋梁形式が選定され、2019年12月に公表。引き続き各橋梁の基本構造の詳細検討等を実施。駒栄地区では開削トンネル工事を実施中。

凡 例	
	阪神高速供用区間
	阪神高速供用区間(2019年度開通)
	建設区間
	建設区間(合併施行)
	計画区間

大和川線開通後のご利用状況（1）

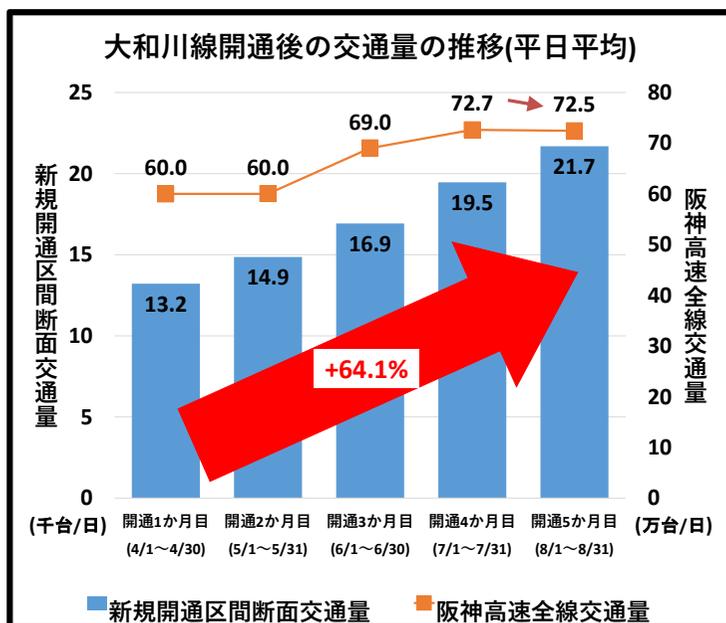
○ 大和川線の利用が徐々に増加

コロナ禍の中、全線交通量に変動がある一方で、大和川線交通量は増加傾向にある。

○ 時間短縮効果

並行一般道 49分 ⇒ 大和川線 15分（34分短縮）

松原線 37分 ⇒ 大和川線 15分（22分短縮）



※断面交通量は車両検知器(鉄砲~常磐)データを集計
 ※全線交通量は料金収受台数を集計



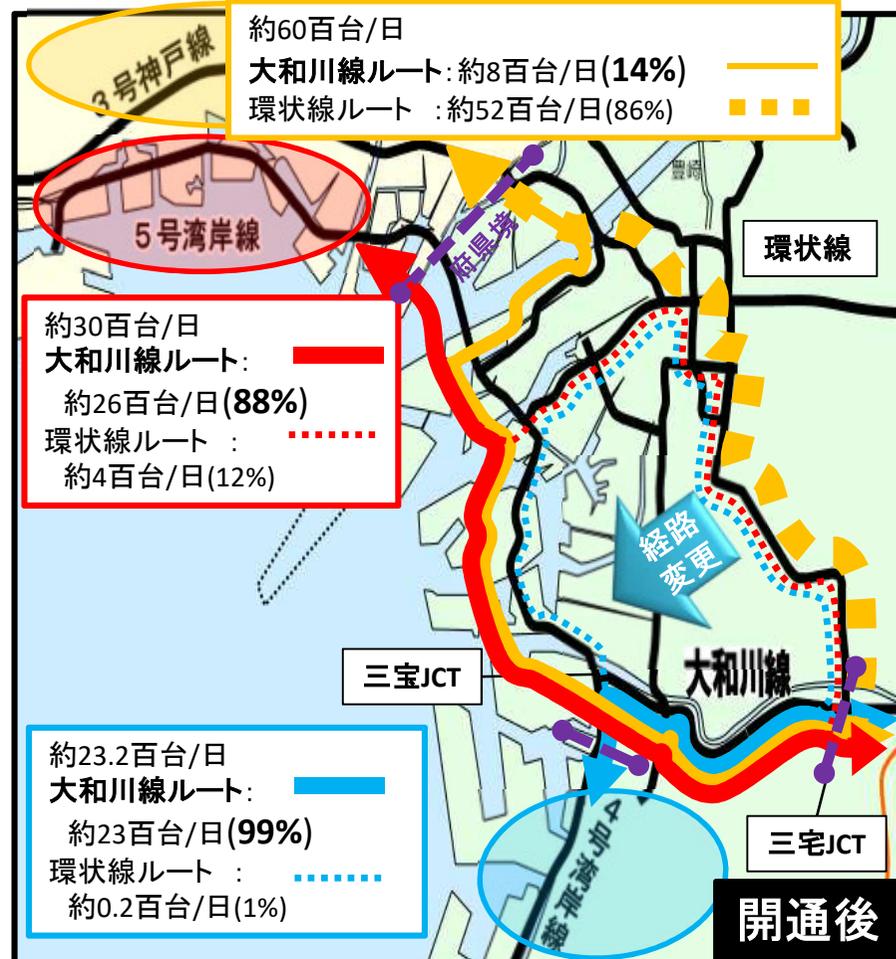
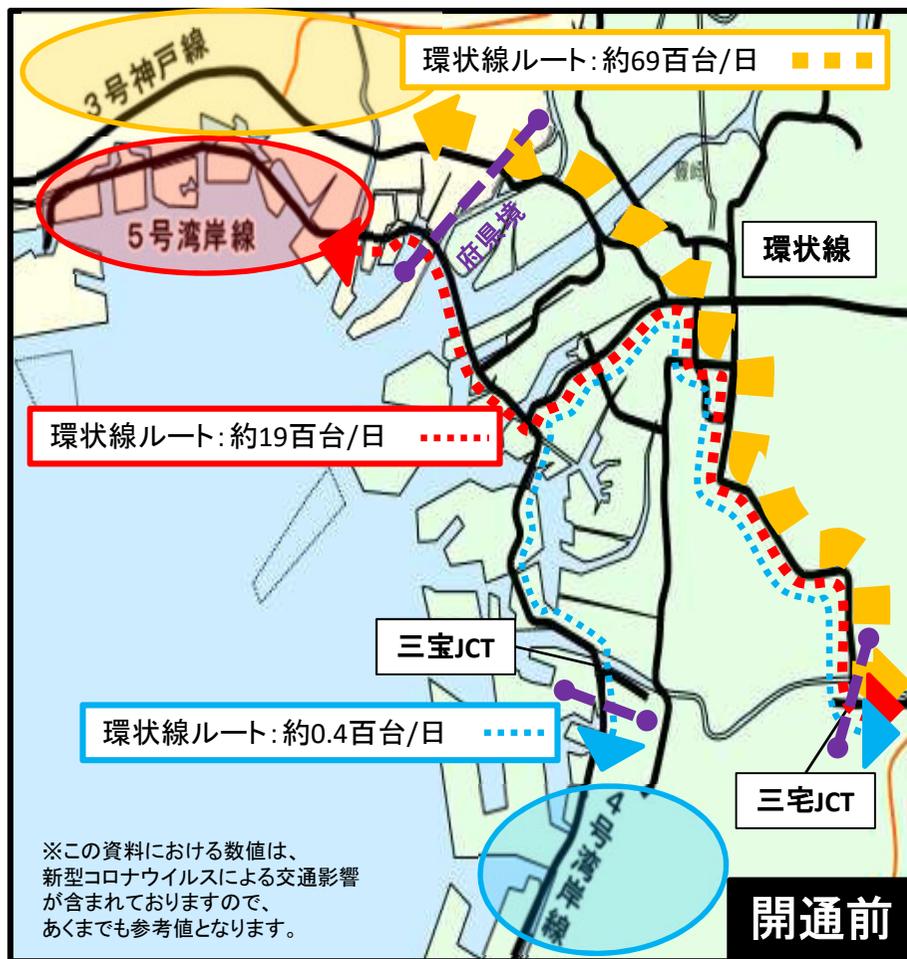
※高速道路所要時間:ETCデータを集計
 松原線ルート 開通前 2020/3/23~3/27(平日平均)
 大和川線ルート 開通後 2020/3/30~4/3(平日平均)

※一般道所要時間(一般道ルート)
 :走行調査結果(2020/3/12 実施)を集計

※この資料における数値は、新型コロナウイルスによる交通影響が含まれておりますので、あくまでも参考値となります。

大和川線開通後のご利用状況（2）

- **都心利用からの経路変更**
都心を通過する環状線ルートから大和川線ルートへの経路変更が図られている。
- **新規需要の創出**
三宅JCT以東と三宝JCT以南を行き来する利用の創出がみられる。



右記のETCデータを集計 【集計期間】開通前: 2019/7/1～2019/7/31 平日平均
開通後: 2020/7/1～2020/7/31 平日平均

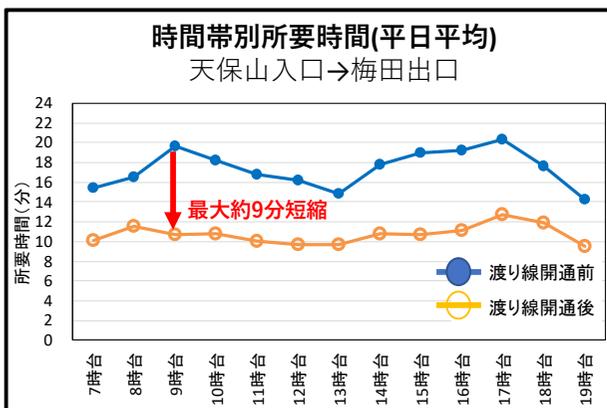
【集計範囲】三宅JCT以東～3号神戸線・5号湾岸線經由兵庫県域発着
三宅JCT以東～4号湾岸線三宝JCT以南発着

西船場ジャンクション（信濃橋渡り線） 開通後のご利用状況

- 渡り線の利用が徐々に増加
渡り線開通後の交通量は増加傾向にある。
- 時間短縮効果
環状線等の半周回りの必要がなくなり、所要時間を短縮できるルート選択が可能となった。
- 渋滞の緩和
阿波座合流部の車線増設により、阿波座先頭の渋滞量が減少した。

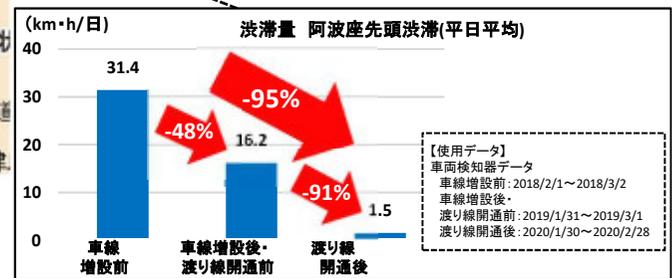


【使用データ】
車両検知器データ2020/2/1~2020/8/31



【使用データ】
ETCデータ
開通前：2019/1/31~2019/3/1
開通後：2020/1/30~2020/2/28

※この資料における数値は、新型コロナウイルスによる交通影響が含まれておりますので、あくまでも参考値となります。



【使用データ】
車両検知器データ
車線増設前：2018/2/1~2018/3/2
車線増設後・渡り線開通前：2019/1/31~2019/3/1
渡り線開通後：2020/1/30~2020/2/28

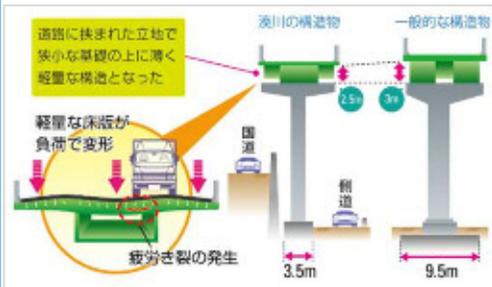
阪神高速の事業進捗（高速道路リニューアルプロジェクト）

- 阪神高速道路を将来にわたって健全な状態に管理し、お客さまに安心してご利用頂けるよう、老朽化が進んだ構造物等の修繕事業等を進めるとともに、2015年度から高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）に着手

【事業箇所と主な大規模更新事業の進捗状況】

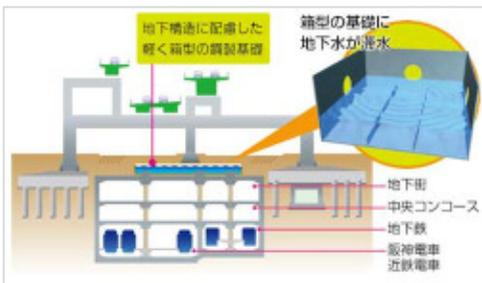
■ : 大規模更新箇所(約5km)
■ : 大規模修繕箇所(約86km)

● 3号神戸線 湊川 (1968年開通)



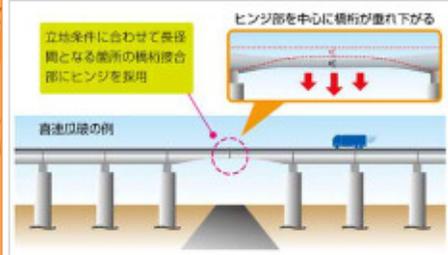
- 中間橋脚を設置するための地下埋設管の試掘などの現地調査を完了し、年内に現場着工予定

● 15号堺線 湊町 (1972年開通)



- 先行橋脚基礎の概ねの設計・施工法検討、及び地下埋設物の試掘調査を完了し、工事着手に向けた関係者協議を実施中

● 14号松原線 喜連瓜破 (1980年開通)



- 技術提案交渉方式により設計業務を契約し、上部工架替方法の検討を実施中



3. 1号環状線リニューアル工事

1号環状線リニューアル工事（終日通行止め工事）

- 1号環状線の1日のご利用台数は約25万台で、供用から50年以上が経過し、コンクリート床版（道路の床面）などで損傷が進行
- 過去に2回の終日通行止め工事を実施。前回の工事から20年近くが経過し、舗装や道路の継ぎ目などの損傷が顕在化
- 安全・安心・快適を未来につなげるため、構造物の長寿命化に向けた1号環状線リニューアル工事を実施

24年

13年

19年

1号環状線開通
1964～1966年

終日通行止め工事
1988年

終日通行止め工事
2001～2002年

終日通行止め工事
2020年：南行
2021年：北行（予定）

南行：6日間
北行：5日間

南行：8日間
北行：7日間



1号環状線開通の様子



2002年の終日通行止め工事の様子



舗装の損傷



コンクリート床版の損傷 13

1号環状線リニューアル工事（終日通行止め工事）

○ 工事は、交通影響を踏まえ、北行き、南行きの2分割で実施するものとして、2020年11月に南行、2021年度に北行を予定



(位置図)



(環状線拡大図)

年度	2020年度	2021年度
路線	1号環状線・南行	1号環状線・北行
実施時期	STEP1 11月10日～20日 STEP2 11月20日～27日	調整中
影響台数見込	約16万台/日	約12万台/日
主な工事内容	舗装補修、伸縮継手補修、高性能防水、RC床版取替など	舗装補修、伸縮継手補修、高性能防水など
前回実施年度	2001年	2002年

『1号環状線リニューアル工事 2020南行』

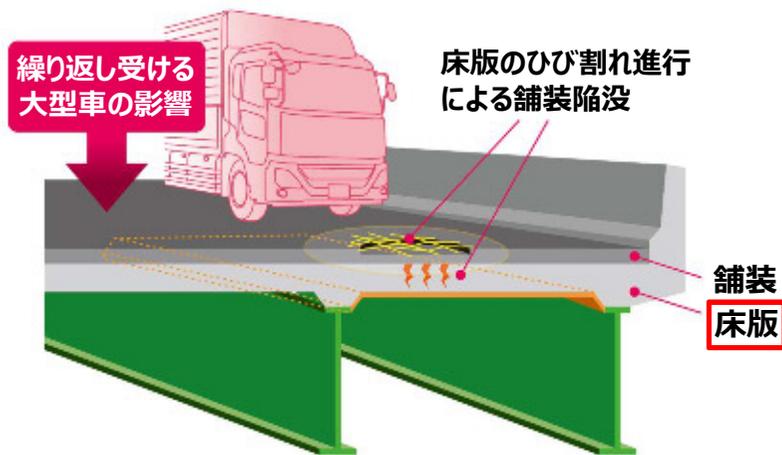
- 終日通行止めによる工事を、STEP1〔1号環状線：梅田⇒夕陽丘、10日間〕とSTEP2〔12号守口線：南森町・扇町付近、7日間〕の2段階で実施
- 12号守口線の南森町・扇町付近にて、阪神高速道路本線では初めてとなるRC床版取替工事を予定

	〔STEP1〕 (10日間) 1号環状線 梅田⇒夕陽丘	〔STEP2〕 (7日間) 12号守口線 南森町・扇町付近
期間	11月10日 (火) 午前4時～20日 (金) 午前6時	11月20日 (金) 午前6時～27日 (金) 午前6時
主な 工事概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート床版の取替 (12号守口線 南森町・扇町付近) ・コンクリート床版の防水機能の向上 ・舗装補修・伸縮継手取替 ・道路標識・看板取替・区画線改良 	<ul style="list-style-type: none"> ※STEP1とSTEP2の17日間で実施) ※舗装補修、標識取替工事等の残工事についても実施
通行止 区間	<p> ■ STEP1通行止区間 (閉鎖出入口) ■ 床版取替工事区間 </p>	<p> ■ STEP2通行止区間 (閉鎖出入口) ■ 床版取替工事区間 </p>

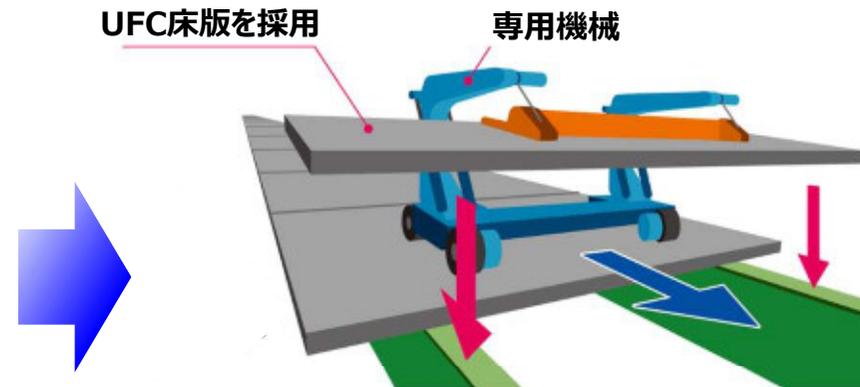
『1号環状線リニューアル工事 2020南行』

本線部において初めてのコンクリート床版取替

- 12号守口線の一部区間（南森町・扇町付近）において、コンクリート床版のひび割れの進行により、道路の陥没など致命的な損傷につながる恐れがあることが判明
- 最新の技術・工法の採用に加え、道路の下からの施工が可能な作業を通行止め期間前に行うことで、通行止め期間の大幅な短縮を図り、計17日間の通行止めによって本線の床版取替を実施



コンクリート床版の深刻な損傷



- 専用機械による架設

UFC床版を設置するための専用機械を開発し、狭隘な現場で安全かつ短期間で施工

特殊繊維を混合した高強度のコンクリート(UFC※)で軽量化



約1/2の重さ

平板型UFC床版のイメージ

- 新開発した床版の採用
 - 従来のコンクリート系床版よりも高耐久、薄肉、軽量の平板型UFC床版を採用

※UFC: Ultra High Strength Fiber Reinforced Concrete

『1号環状線リニューアル工事 2020南行』

◆ 工事期間中のお願い ◆

リニューアル工事期間中は、大阪市内中心部や、11号池田線、12号守口線などの周辺道路では、**激しい渋滞が予想されます。**
 ご迷惑をおかけしますが、**お車のご利用を控えていただくか、広域う回やご利用時間帯の変更**をご検討いただきますようご理解とご協力をお願いいたします。



お出かけ前に道路交通情報をご確認下さい
 特設サイトにて、道路交通情報や工事進捗をご確認いただけます

期間中に役立つ情報が満載！

- 交通影響やう回情報が充実 **利用路線チェック**
- ピーク時間の回避に便利 **渋滞予測図**
- 渋滞予測を反映&一般道路にも対応 **う回路線検索**

1号環状線リニューアル工事 2020南行

特設サイト

阪神高速環状線 通行止

<https://hanshin-exp.co.jp/renewal/loop-s2020/>

※PCとスマートフォンに対応しています

リニューアル工事に伴う 道路交通情報などに関する問い合わせ

0120-84-1620

ご利用時間	~11月9日(月)	[8:30~19:00]
	11月10日(火)~11月19日(木)	[0:00~24:00]
	11月20日(金)	[0:00~22:00]
	11月21日(土)~11月26日(木)	[6:00~22:00]
	11月27日(金)	[6:00~19:00]

阪神高速お客さまセンター

06-6576-1484

24時間受付(年中無休)

4. 安全・安心・快適への取組み

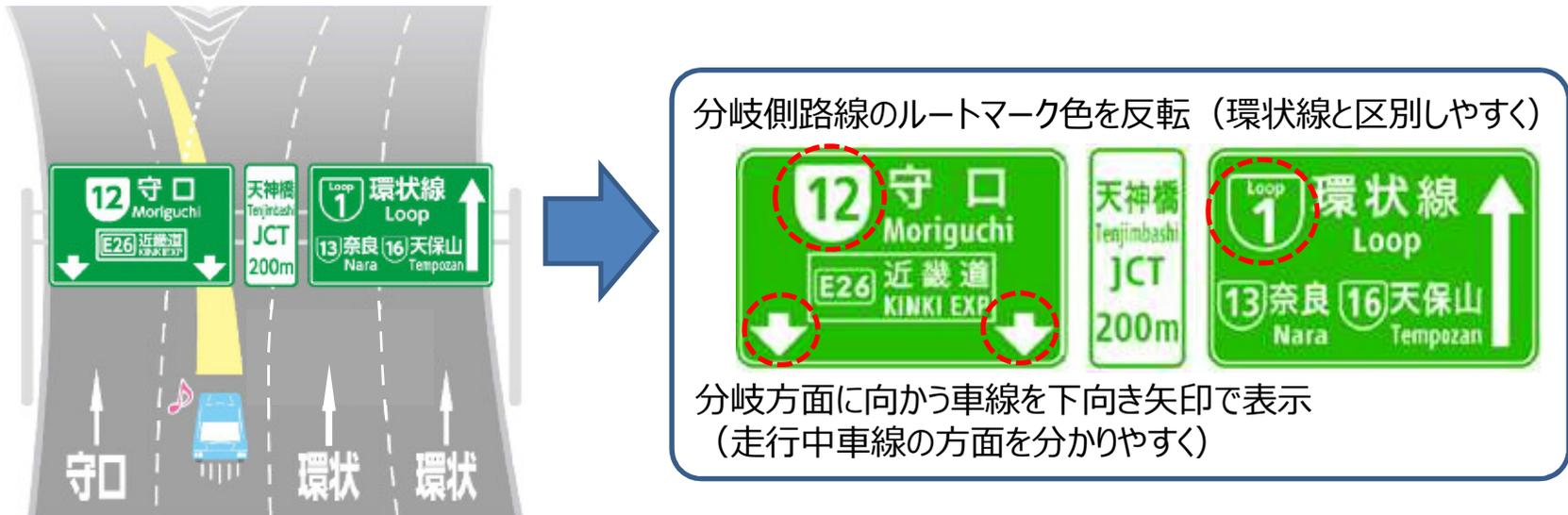
1号環状線 走りやすさ向上の取組み

現状の課題

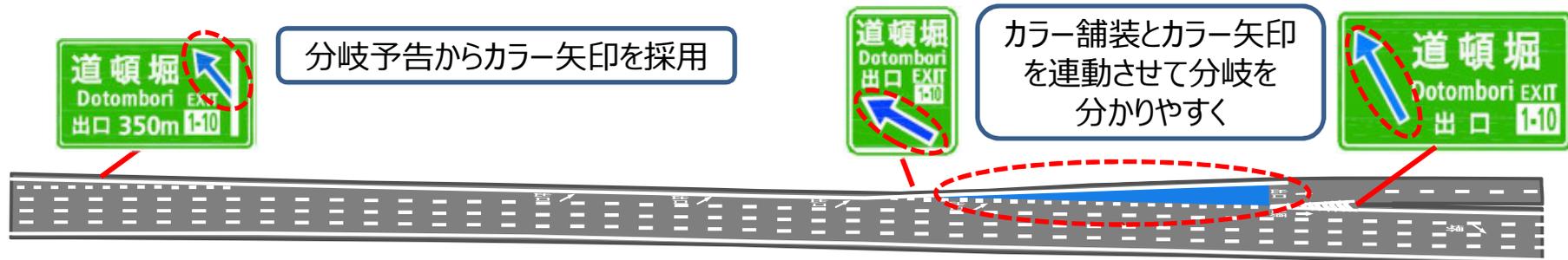
- ・ 1号環状線は多数の路線が接続する環状道路であり、分合流が短区間に連続
 → 分合流付近での車両の錯綜に伴う事故や、誤って出口を退出する誤分岐が多発

具体的取組み（例）

(1) 本線分岐を分かりやすく：方面案内のわかりやすさを重視した標識レイアウト



(2) 出口分岐を分かりやすく：直感的にわかりやすいよう出口にカラー舗装等



パーキングエリアの充実

○都市高速（阪神高速） Styleのパーキングエリア

お客さまから、PA設置のご要望をいただいております、不要となった本線料金所の跡地を活用し、新たなPAの整備を行っています。

- ✓ **高石パーキングエリア[北行]を2021年春頃オープン予定**
- ✓ その他の箇所でも順次、PAを整備していきます
 - ・新泉大津PA（仮称）[関空方面行]
 - ・新中島PA（仮称）[関空方面行]



参考:満車比較表示板

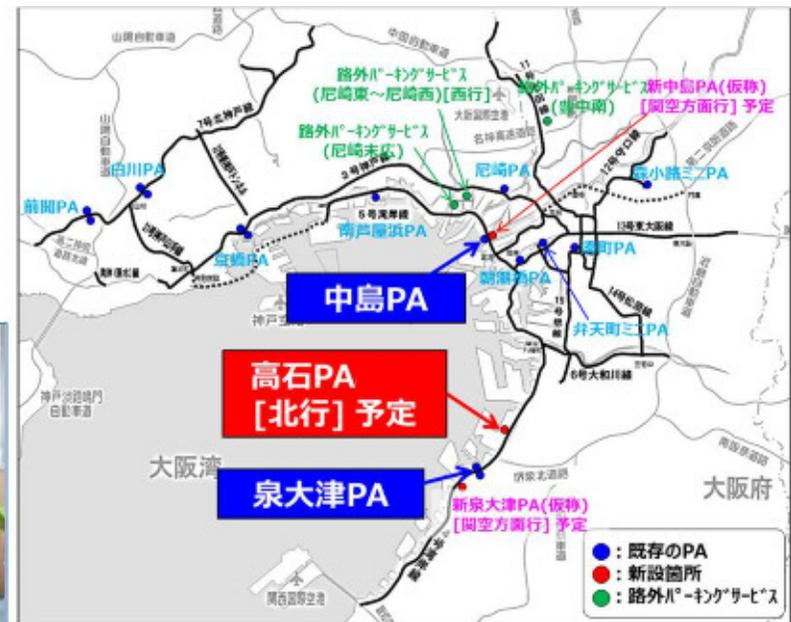
尼崎PA、南芦屋浜PAに続く、新PA第3弾！

自販機コンビニも配備



24台 10台 2台

※2021年春頃オープンに向け工事実施中。



中島PA及び泉大津PA（陸側）の店舗リニューアルオープン

お客さまからご要望の多い“コンビニエンスストア”を中島PA、泉大津PA（陸側）にオープンしました。

災害対応力の強化（入路遠隔閉鎖装置の整備）

- 大阪北部地震（H30.6）では、地震後の安全確認と閉鎖・開放作業のため通行止めが5時間半に及んだ
 - ✓迅速かつ安全に入路を遠隔閉鎖・開放できる「入路遠隔閉鎖装置」を整備
 - ✓通行止め基準の見直しにより、エリアごとに閉鎖・開放の判断を行う
- ことで地震時の安全確認における、閉鎖・開放時間を短縮する取組みを実施しています



遠隔閉鎖

遠隔閉鎖解除



約100カ所
(2022年度まで)

従来

交通管理隊による
入路の閉鎖
↓
安全確認
↓
交通管理隊による
入路の閉鎖解除

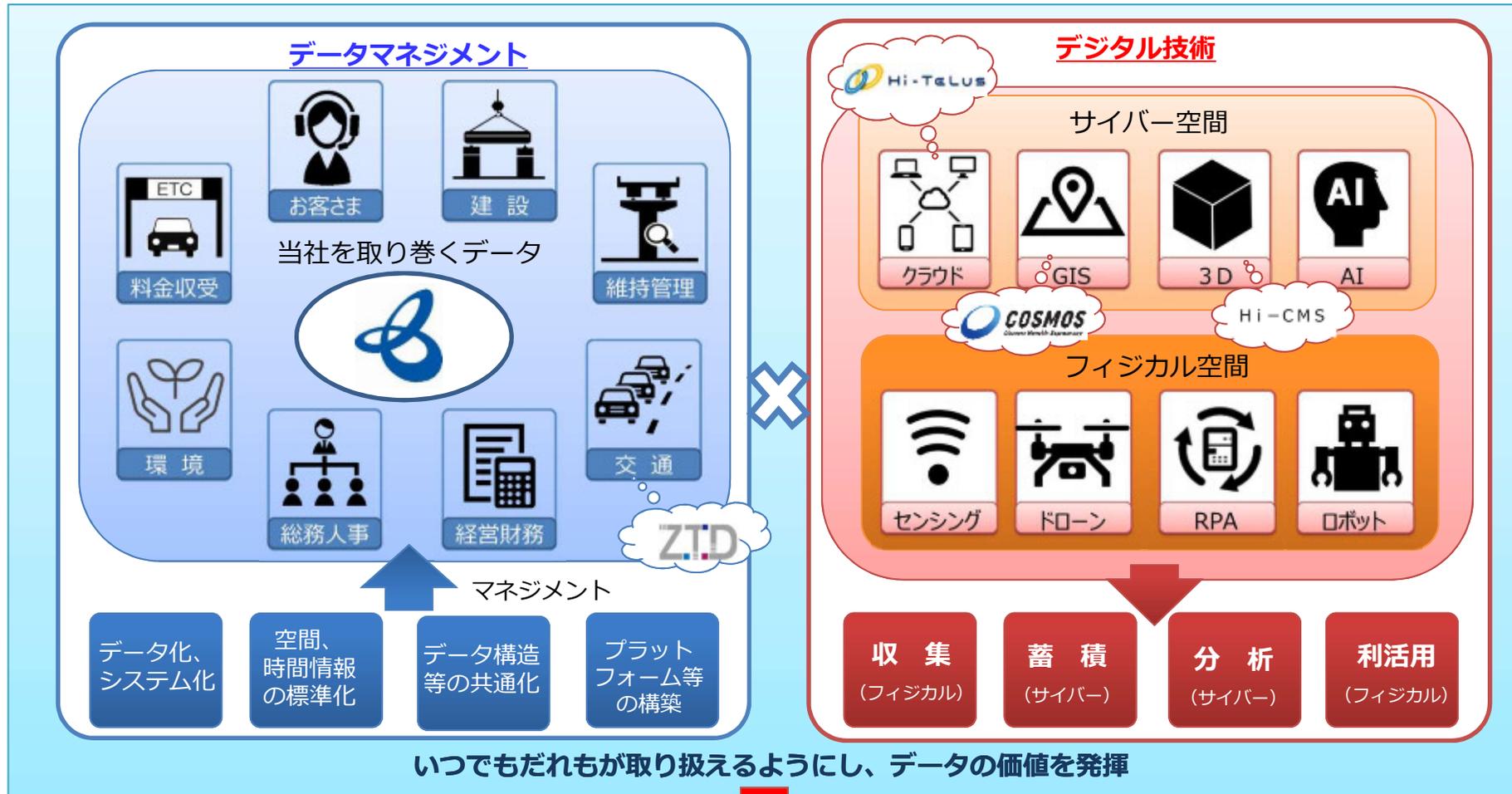
整備後

遠隔制御による
入路の即時閉鎖
↓
安全確認
↓
遠隔制御による
入路の即時閉鎖解除

5. ポストコロナ社会を見据えた取組み

デジタル技術の活用による新たな働き方の推進

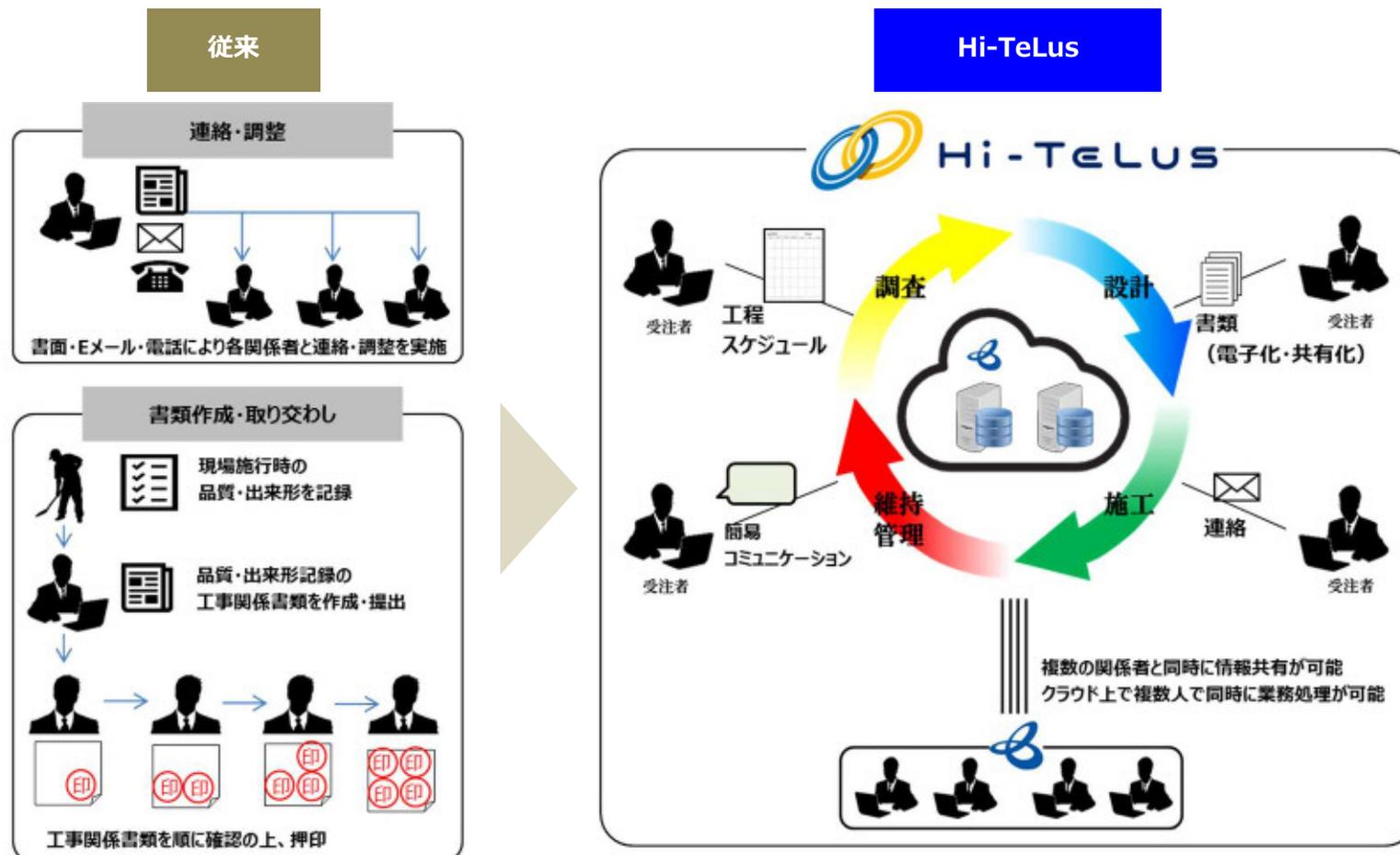
- 当社が保有するデータや情報を「重要組織資産」ととらえ、一元的な戦略を策定してマネジメントを推進するため、2020年7月 技術部にデジタル技術戦略室（DXO: Digital Transformation Office）を設置
- デジタル技術の活用によりデータ利活用を推進し、新たな働き方に繋がる業務生産性向上や省力化を実現するとともに、品質向上と先進の道路サービスに資する『新たな価値の創造』をめざします



メンテナンスや道路交通マネジメントの効率化・高度化、防災・減災対策や災害対応の高度化、お客さまサービスや社員満足の向上などの新たな価値を創造

デジタル技術の活用の取組み事例 ～Hi-TeLus（阪神高速・工事情報等共有システム）～

- 建設維持に関する設計・工事では、発注先とのやり取りを書面を中心としていた
- 発注先との ✓日常の連絡
 - ✓書類提出・取り交わし等 を「丸ごと電子化」するHi-TeLus を本格導入
- 発注先との書類やり取り等における生産性が約18%向上
- また、3密回避・非接触・脱ハンコを実現しています



■ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大により深刻な影響を受けた観光需要を喚起し、関西地域の経済活性化に貢献するため、国が実施する「GoToトラベル事業」に参画



■ 商品

- ・商品名 阪神高速周遊パス（2日間）
- ・期 間 2020年9月18日（金）～2021年2月1日（月）の計137日間
- ・対 象 ETCシステムを利用する普通車、軽・二輪

2日間周遊パス	周遊パス料金	給付額	お支払い実額 ※周遊パス料金に対する 給付額適用後
普通車	3,200円	1,120円	2,080円
軽・二輪	2,700円	945円	1,755円

- ・利 用 連携する直販予約特化型WEBサイト「STAYNAVI」での宿泊施設予約とセットとして申し込みをした場合のみご利用が可能
- ・申 込 回数、人数上限なし